

LANケーブル（フラット・すき間・ウインドウ型）
PoE給電対応
ES-FL03/RJ-RJ



取扱説明書

2017年4月

● 商品概要

屋外にカメラを設置した場合、屋内より電源を供給する必要があります。
その場合には電源ケーブルを屋内に引き込む必要があり、場合によっては建物の貫通工事を行う必要があります。
そこで、当商品を窓枠（サッシ）に這わせれば、LANケーブルが簡単に屋内に引き込めます。
この場合のカメラの給電方式はPoEハブかPoEインジェクタのPoE給電方式になります。
従って対応出来るカメラは当社SDカードカメラかネットワークカメラに限ります。

● 配線・接続例

配線・接続例

LANフラットケーブルとインジェクターを使用した配線・接続例

LANフラットケーブル（別売）を使用する事により、窓枠に配線を這わす事が出来ます（窓は閉まります）。
PoEインジェクタ（別売）を使用する事により、LANケーブル1本のラインで電源+映像をやり取りする事が出来ます。



ご注意

● ご注意

LANケーブルは通常100mまでの長さが有効ですが、本ケーブルを使用する事により、ジョイント箇所が発生する都合上、90mを全長制限としています。

▼STEP1：準備編



ケーブルを貼り付ける箇所を入念に拭いてください。ホコリ等汚れが付いているとケーブルを貼り付けたとき、経年で脱落する場合があります。濡らした布や、アルコールで十分に清掃してください。そして完全に乾燥させてください。



既に貼ってある両面テープのカバー側をすべて剥がしてください。粘着面には手で触れないようにしてください。

▼STEP2：貼り付け・固定編



ここでは一般のご家庭の窓枠（サッシ）に貼り付ける方法の説明です。黒いコネクタ部分から貼り付けて、写真3のように窓枠に貼り付けて行く訳ですが、この時のポイントとしては、写真3のように爪を立てるなどして、角にはしっかり貼り付け行きます。これを繰り返して、ケーブルの浮く箇所が極力ないようにして貼り付けてください。



コネクタ部までしっかり貼ったら、一度窓を閉めてまどのカギが正様に締まるかどうかを確認してください。

この時A部の上下のコネクタ部の穴があります。取付面が木材の場合、この穴にねじをねじ込めればさらに強固な固定が出来ます。

穴のサイズは直径3mmですので、接地面が木材の場合はステンレス・鍋頭・首下8mm・タツピンビスという名前のビスが適切です。

(ビス・ねじ類同梱はしていません。ホームセンターなどでかんたんに調達可能です)

▼STEP3：防水処理編



最後に屋内側と屋外側にLANケーブルを接続する訳ですが、屋外側は雨風に触れる場合、写真5のように接続部をビニルテープで嚴重に巻いてください。
水がかかっても内部に浸透しないようにビニルテープを巻き付けてください。

接続部以外は水に触れても差支えありません。



使用するビニルテープですが、文房具用ではなく電気工事用をご利用ください。
ビニルテープは別売りまたはホームセンターの電気材料売り場でかんたんに調達出来ます。

● 仕様その他

仕様表：LANケーブル（フラット・すき間・ウィンドウ型）（ES-FL03/RJ-RJ）	
相当ケーブル	CAT5eケーブル相当
全長	300mm
コネクタ	両端RJ45
付属品	本ケーブル、説明書
使用環境	-0℃～+50℃/0～80%（結露なきこと）

以上の使用方法をよくお読みになり、安全に正しくご利用ください。

その他ご不明な点につきましてはお問合せください。

合同会社エレックスシステム

TEL 045-317-9873

e-mail : info@elexsystem.co.jp

